

第8回対話型鑑賞ファシリテーター養成講座のご案内

2日間半という短期間で、鑑賞ファシリテーターとしての理論と実践を学ぶことができます！



美術作品を見ながら、グループで対話して作品の理解を深める手法を学ぶ全3回の講座です。

対話型鑑賞では、情報に頼らず作品をよくみて自分の考えを言葉にするなかで、みる人が主体的にものをとらえ、答えのない問題を考え続ける面白さを学んでいきます。細部まで心を行きわたらせ「発見する力」、先入観にとらわれず人の意見を「聴く力」、また様々な見方を共有することで広がる豊かな「感受性」は社会生活の中でも大きな価値があると考えられます。

講座では背景にある理論を学びファシリテーションを実践練習し、鑑賞ファシリテーターとしてはもちろん、コミュニケーションの核となるスキルの向上を目指しています。講座後も受講生は月1回の勉強会を開催し、自主企画の鑑賞会などを各地で取り組んでいます。

講座概要

【日時】 全3回

2017年12月15日(金) 19:00~21:45

12月16日(土) 9:30~18:00 (講座後交流会予定)

2018年 1月13日(土) 9:30~19:00 (講座後交流会予定)

【場所】 横浜市神奈川区民文化センター かなつくホール

神奈川県横浜市神奈川区東神奈川 1-10-1

【定員】 15名 (最低敢行人数10名)

【受講料】 個人：全3回 税込36,720円、法人：全3回 税込52,000円

理論
実践
気づき

日程		—体験・理論・実践のバランスが取れた内容—	
1	12月15日(金) 19:00~21:45	レクチャー	・対話型観賞とは？ ・ファシリテーターの3つの質問と7つのポイント
2	12月16日(土) 9:30~18:00	レクチャー 演習	・美的発達段階・作品選びについて ・ファシリテーション実践
<課題提出>			
3	1月13日(土) 9:30~19:00	レクチャー 演習	・ファシリテーターとしての準備 ・ファシリテーション実践

講座の特徴



- * 2日半の最短コース
- * 充実した書き下ろしテキスト
- * 講座満足度 100点中、93点！要望を反映し実践強化。
ファシリテーションは実践で上手くなる！
- * 対話型鑑賞についてだけでなく、ファシリテーターとしてのマインドが学べ会議やシンポジウム進行に応用可能
- * 講座修了後も勉強会が続き、幼稚園・小学校・高校・美術館等での実践につながっています

受講生の声

- * 思っていた講座内容よりも内容が濃く、資料も充実！
- * 適度な人数、様々な背景を持った方々が集まり本当に楽しい講座だった
- * すぐにでも実践に移せるレベルまで自分たちで気づきを得ていくかたちで達することができた
- * 講義と色々なワークショップが組み合わせられていて、多角的な学びになった
- * 「言葉を意識して聴く・伝える」ことは美術以外のシーンでも大切な力になる
- * 理論と実践で対話型鑑賞の良さが実感でき今後の活動に活かそう

お申し込み方法

メールにてお申し込みください。

件名を「対話型鑑賞ファシリテーター講座申込」とし、本文に以下の内容をご記入下さい。

※開催が決定次第、別途詳細をご案内いたします。

- 1.氏名
- 2.年齢
- 3.住所
- 4.メールアドレス
- 5.電話番号
- 6.所属・お勤め先
- 7.講座に期待すること
- 8.講座を知った経緯

【メール送付先】seminar@arda.jp（担当：白山）

これまでの受講生

美術館教育普及担当学芸員、美術館ボランティア、音楽ホール教育普及担当、中学校美術教員
高校図書館司書、日本語学校職員、新聞社、デザイナー、ダンサー、アートプランナー、造形
教室講師、人材育成企業、企業人事部 など

主催・お問合せ先

【主催】 NPO 法人芸術資源開発機構 (ARDA アルダ) <http://www.arda.jp/>

【共催】 横浜市神奈川区民文化センター かなっくホール <http://kanack-hall.info/>

【お問合せ先】 seminar@arda.jp（担当：白山）